

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

4月2日は、国連で定められた「世界自閉症啓発デー」です。我が国では、毎年、4月2日から8日までの1週間を「発達障害啓発週間」とし、自閉症など、発達障害についての正しい理解が進むよう啓発活動に取り組んでおります。

文部科学省では、自閉症など発達障害をはじめ、様々な課題を抱えている児童生徒たちを誰一人取り残さず、可能性を最大限に引き出す学校教育の実現を目指すとともに、障害のある方が一生を通じて自らの可能性を追求し、その個性や能力を生かして活躍できるよう、学校教育、生涯学習、文化芸術、スポーツ等の各分野において、省内はもちろんのこと、厚生労働省やこども家庭庁等関係省庁とも連携し、横断的・総合的に関連施策を推進しております。

また、インクルーシブ教育システムの構築のため、全ての児童生徒が可能な限り共に学び、自閉症など発達障害を含む障害のある児童生徒の自立と社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導や必要な支援を行うことができるよう、特別支援教育を推進しております。

昨年3月の「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」においては、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒へのより効果的な支援施策の在り方として、校長のリーダーシップの下、校内支援体制を強化させることのほか、通級による指導の充実など、今後の方針が示されました。文部科学省では、これらの具体的な方向性を踏まえ、その実現を図るべく関連施策等の一層の充実に努めてまいります。そうした中で、自閉症など発達障害を含む障害のある子供たちに更なる学びを充実させるとともに、障害のない子供たちや関係者に対しても、発達障害について理解を深めていくことができるよう取組を進めてまいります。

この「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、全ての教育関係者等にとって、発達障害をはじめとする障害についての理解を深め、本人や保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践する契機となり、障害の有無に関わらず誰もがその能力を発揮し、共生社会の一員として共に認め合い、支え合い、誇りを持って生きられる社会の実現につながっていくことを強く期待いたします。

令和6年4月2日
文部科学大臣 盛山正仁